診療支援部 企画課

診療支援部長 兼 企画課長　山崎 啓嗣

概要

2022 年は、新型コロナウイルス感染症に罹患する患者さんが急増（第 6 波、第 7 波が発生）し、当院においても大規模なクラスターが確認されました。院内では、陽性者への対応を行いつつ通常の救急機能を維持するため、各部署が一丸となって取り組んだ一年でした。

企画課では、病棟のゾーニングや室内環境の整備などを支援しています。また、夏の第 7 波では発熱外来の受診者が爆発的に増え、職員の自宅待機も急増したことから不足する現場スタッフを支援するため、交代で検体搬送業務などにも対応しました。

コロナ対応以外では、外来診療における診察室の利用状況について検討を行いました。専門外来では、この 10 年で医療環境が変化しており、医師数の増加や機器類更新も相まってスペースの有効活用が求められるようになっています。外来患者さんにとっては「長い待ち時間」が発生しており、診療側では「診察室不足」が課題となっています。これらの実態を把握すべく、外来センター各フロア（診察室）の稼働状況調査を行いました。

また、画像検査においても待ち時間の短縮を図るべく、ボトルネックとなっている工程を精査し改善に向けた取り組みを行いました。

※ 2022 年夏に予定していた「日本医療機能評価」の更新審査については、コロナ患者さん増加の状況を考量し、評価機構の特例措置を受けて 2023 年 4 月受審へと延期しました。

1．新型コロナウイルス感染症への対応

2 月に、北館病棟にて大規模なクラスターが発生しました。企画課では、各フロアのゾーニング、および環境整備に緊急対応しました。この時、感染者数の増加が爆発的であったことから、対象となった病棟も複数に及び、その状況下で、陽性患者さんの移動（転棟）とゾーニング作業が交錯したため、課員からも 2 名の陽性者を出してしまいました。このことは大きな反省点と感じています。

【対応の詳細】

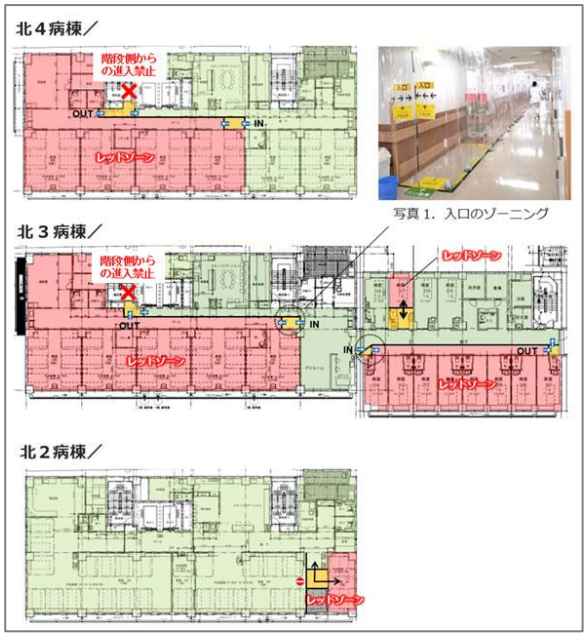
① 病棟のゾーニング

ゾーニングでは、感染エリアと非感染エリアをビニールカーテンで仕切る形をとりました。スタッフの動線、ステーションとの連携性、感染性廃棄物の取り出し等も考慮しています。

場所によっては、企画課員も防護衣を着用し感染エリア内に立ち入っての作業となりました。

感染者数が急増した際は、ビニールカーテンの納品が追いつかずゾーニングが出来ない状況に陥った経験から、課内にロール状のビニールを買い揃え、採寸、切り出し、取り付けまでを即日、自院で行える体制としました。ゾーニング作業を繰り返した結果、当初、１日がかりで行っていた作業は、要請から２時間程度で完了するまでにスピードアップも図れています。今後も感染の拡がりを抑えられるよう努めていきます。

↑2月クラスター発生時は、ゾーニング箇所も
3フロアにまで及びました。



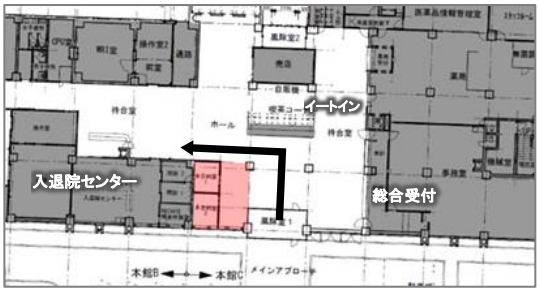
← 床面には、感染エリア、非感染エリアの区分をラインテープで表示しました。

② 発熱外来の設営･拡張対応

7月～8月の第7波では、発熱外来のスペースが足りないほどの患者さんが連日押し寄せることとなり、入退院センター待合エリアへの拡張を行うとともに、正面玄関前に仮設テントを設置するなど2段階で拡張を実施しました。

また、イートインコーナーは閉鎖を余儀なくされ、代替えでBC棟3階内視鏡センター前に移動しています。

Before



↑ 2021年10月31日の発熱外来設置時は、多目的室前（図中、赤塗り）のスペース7席で対応。

After

↑2022 年 7 月 15 日、水槽前通路を閉鎖し待合へ変更しました。また、イートインスペースは BC 棟 3 階内視鏡センター待合いへ移動しています。これにより従前スペースは通路としました。

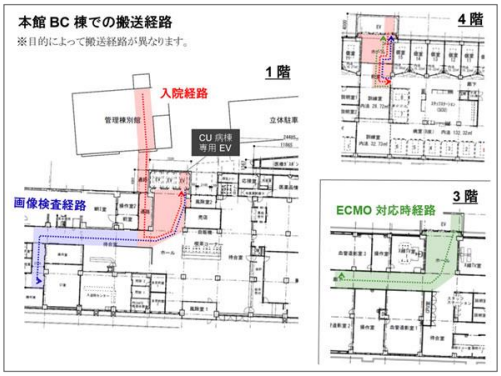
↑2021 年 8 月 19 日、入退院センターの一部を発熱外来待合に取り込み、待合は 40 席まで拡張しました。また、正面玄関前（外）には検査用テントを設置して体制を強化しました。

③ 陽性患者さんの搬送サポート（コード C 体制）

陽性患者さん受け入れにおいては、一般来院者との導線分けが出来ないため、状況に応じて通行規制を行う体制としました。その際、音楽を流すことで院内周知を図り、陽性者との接触を避ける運用（コード C 体制）としました。

実際の陽性患者さん誘導については、企画課員を中心に B 勤、C 勤等の管理部スタッフ等が交代しながら現在も対応継続中です。

［搬送時音楽］　陽性者の入院時搬送・・・　鉄腕アトム（オルゴール）
陽性者の検査室移動・・・　サライ（オルゴール）
陽性者の退院時搬送・・・　パプリカ（オルゴール）



④その他

第 7 波の感染拡大時は、自宅待機のスタッフや発熱外来を受診するスタッフが急増したため、検体搬送や感染エリアの消毒作業について課内からもスタッフを交代で派遣し現場支援を行いました。

２．外来センター稼働率向上に向けた取り組み

外来センターは、専門外来開始から 10 年が経過し、患者数および医師数の増加とともに、診療内容も変化してきています。現在、外来患者さんにとっては「長い待ち時間」が発生しており、診療側では「診察室不足」が課題となっています。

そこで、診察室の稼働状況調査や画像検査に係る所要時間調査を行いました。

調査の詳細

① 各診察室の稼働状況調査

本調査は、外来センター各診察室の稼働状況を調査し、効率的な利用について各科で検討いただくために実施しました。

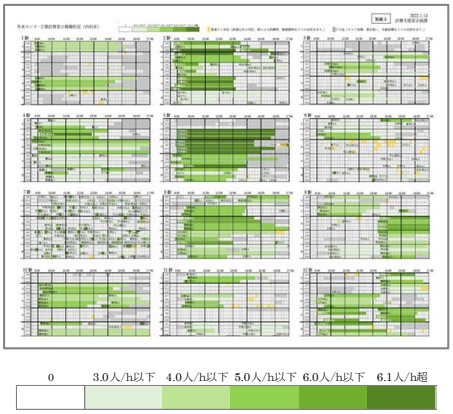
調査方法は、各フロアの診察室毎に調査票を配布し、コメディカルが使用目的と実使用時間を都度記入し、集計しました。

また、集計データを基に作成した表では、診察室を使用目的ごとに色分けし、使用時間に対する診察人数の違いを濃淡によって可視化しました。

［調査結果］

・午前中に診察が偏っており、午後は空いている診察室が多い。
・稼働率の低い診察室がある。（曜日による傾向あり）
・フロア（診療科）によって傾向が異なる。

資料詳細は P. 10 以降 参照



→調査結果は、全所属長の集まる合同運営会議にて報告し、診療科間で調整を行うこととなりました。

② 外来センター画像検査に係る所要時間調査

外来センター3 階は、画像検査待ちの患者さんで待合が混雑（午前中が顕著）しており、待ち時間の軽減が課題となっています。そこで画像診断部の協力を得て、検査受付から検査室退室までの流れを細かく５つの工程に区切って、それぞれの所要時間を集計し、ボトルネックとなっている問題点を精査しました。

［調査結果］

・件数の多い XP 検査が、特定の曜日、時間帯に集中している。
・診療科によっては、撮影部位（枚数）が多く、患者 1 人当りの所要時間が長い。
・検査時間（撮影）は短時間で終了しているが、検査室内での患者さんの更衣に時間を要しており、お部屋が長時間占有されている。
・着衣数の多い冬期は、更衣時間はさらに長くなるものと予想される。

→特定の曜日、または時間に検査数の集中が認められる診療科については、画像診断部よりオーダー分散の提案が行われました。また、更衣によるお部屋の占有を回避するため、検査室外に更衣室を新設しています。その結果、待ち時間の軽減が図られました。

３．ブランディング

企画課では、院内外への情報発信を様々な方法で行っていますが、特にホームページへのアクセス数は、直近データで年間 17 万 5,000 人超まで飛躍しており、発信内容については、継続的に検討を行っています。2022 年は動画による情報発信にも力を入れました。

動画関連

①「近森会グループ 薬剤部 PR 動画」制作

職員採用に関し薬剤部の紹介ビデオ（実際に働く薬剤師の様子や魅力をお伝えする動画）を制作しました。スタッフ座談会と薬剤部長メッセージの二本立てとし、ホームページ上で公開するとともに就職説明会等でも紹介しています。

・近森会グループ 薬剤部動画
「ちかやく座談会 8 分 13 秒」

・近森会グループ 薬剤部動画
「薬剤部長メッセージ 4 分 57 秒」

②「近森病院附属看護学校 PR 動画」制作

看護学校については、毎年、ポスター等で学生募集活動をサポートしていますが、2022 年は、新たに動画制作を支援しました。この動画は、学校ホームページでの公開やオープンキャンパス等での上映、このほか、高知市帯屋町にある大型 LED ビジョン「帯屋町ビジョン」でも公開しています。

・近森病院附属看護学校 CM
「私、看護師になる。2022 15 秒」

・オープンキャンパス動画
「講師紹介」

③ 近森病院附属看護学校（2021 年度卒業式、2022 年度入学式の LIVE 配信）

コロナ禍で制限のかかった 2021 年度卒業式(2022.3.4 開催)では、ご父兄向けに LIVE 配信を行いました。また、翌月に開催された 2022 年度入学式では、ヘリポートからのバルーンリリースの様子なども中継しています。

④ 院内動画の上映設備設置

近森病院の PR 動画や当院の活動、取材を受けた映像について、ご来院者向けの上映を開始しました。

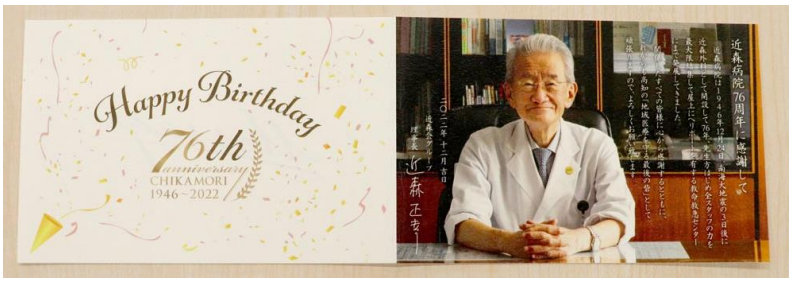
上映設備は、管理棟 1 階のエレベーターホールと A 棟 3 階の生理検査室前に設置しました。外来患者さんの多くが当該エリアにて検査待ちをされており、わずかな時間ですが当院に関する情報を共有するスペースとして利用を開始しました。

4．その他

4．1 近森病院 76 周年

2021 年 12 月の 75 周年に続き、2022 年 12 月は 76 周年として近森正幸理事長からのメッセージが添えられたお弁当が全職員に振舞われました。当年は、出勤日の異なるスタッフや協力会社職員など全ての関係者を対象としたため、4 日間で 2,144 名の職員への配布となりました。

また、付随して「理事長からのクリスマスプレゼント」として病院で保有する絵画約 200 点が希望する職員に無償譲渡されました。



全職員へ配布された鮨とメッセージカード

４．２　データ分析

業務改善に向けたデータ分析、資料作成等

作成資料詳細は P. 10 以降　参照

- 外来患者数、初診患者割合、紹介患者割合、外来診療単価の推移
- 検査実施件数の推移
- 近森救急停止による県内搬送件数への影響について
- 疾病別退院患者数、疾病別緊急入院患者数
- A 棟 3F 中央採血室　来室患者数算出
- 年齢別男女別高知県人口と入院･外来患者数
- 近森病院への救急搬送件数と入院比率の推移
- 高知県の 1 日あたりの救急搬送件数
- 救急搬送件数の推移
- 高知県の医療圏別、将来推計人口
- 外来センター画像検査エリア（3 階）における待ち時間調査
- 診療実績データ分析
- 救急受け入れ患者数、重篤患者数の施設間比較
- 診療科別　手術室売上額ほか
- 高知県救急隊の搬送件数（速報）
- 救急搬送件数（月次データ）
- 救急搬送　受入件数（2015.4～）　〈理事会資料用〉

毎年作成している資料

４．３　清掃活動

管理部有志で続けている清掃活動は、12 月で丸四年が経過しました。

※毎月 25 日は清掃活動の日。

４．４　立入り調査対応等

高知市保健所　立入検査 2022.8.19（定期検査）
※ コロナ禍のため、書面審査のみ　→指摘事項なし

４．５　看護学生（外部）控室の移動

近森病院に来られる外部実習生用の控室について、環境改善のため、管理棟第二別館から近森教育研修センター（7F、8F）へ移動を行いました。

移動に際し控室、更衣室、食堂スペース、駐輪場などの整備を行っています。

４．６　医療機能評価更新審査の受審について

2022 年 7 月 1 日の更新審査（当初予定日）については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、2023 年 4 月 24 日～26 日へ延期となりました。

５．アンケート調査への対応

- 臓器提供施設の体制整備状況に関するアンケート
  →依頼元：厚生労働省（2022/1/19 提出）

- 病院における医療情報システムのバックアップデータ及びリモートゲートウェイ装置に係る調査
  →依頼元：厚生労働省（2022/2/3 提出）

- 医療用物資（非滅菌手袋）の国備蓄品の購入希望調査
  →依頼元：厚生労働省（2022/5/18 提出）

- 災害拠点病院の現況確認（2022/5/20 提出）

- VHJ-Q 院内外の広報に関する調査
  →依頼元：トヨタ記念病院（ＶＨＪ事務局経由）（2022/5/25 提出）

- 感染症調査　新型インフルエンザ対策医療機関整備状況
  →依頼元：厚生労働省（2022/6/1 提出）

- 新型コロナ病床に対する看護職員配置状況等調査
  →依頼元：厚生労働省（2022/7/14 提出）

- VHJ 経営調査（2021 年度）
  →依頼元：特定非営利活動法人ＶＨＪ機構（2022/8/3 提出）

- 人工透析等の腎代替療法に関する状況調査（2022 年度 7 月から）
  →依頼元：厚生労働省（健康局がん疾病対策課 腎疾患担当）
  （7 月分）2022/8/29 提出（8 月分）　9/28 提出　（9 月分）10/21 提出
  （10 月分）11/18 提出　（11 月分）12/29 提出

- 医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査 調査Ａ
  （医療機関における受入体制に関する調査）
  →依頼元：厚生労働省（2022/9/28 提出）

- 令和 4 年度救急医療提供体制の現況調べ
  →依頼元：厚生労働省（2022/9/30 提出）

- 医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査 調査 B（外国人患者に関する調査）
  →依頼元：厚生労働省（2022/10/13 提出）

６．ホームページ、ポスター、サイン類のデザインに関する対応

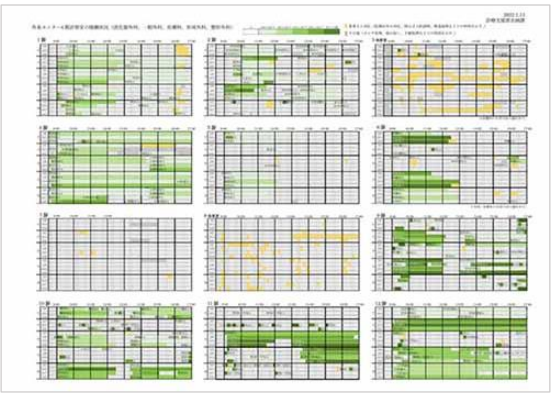
作成資料詳細は P.24 参照

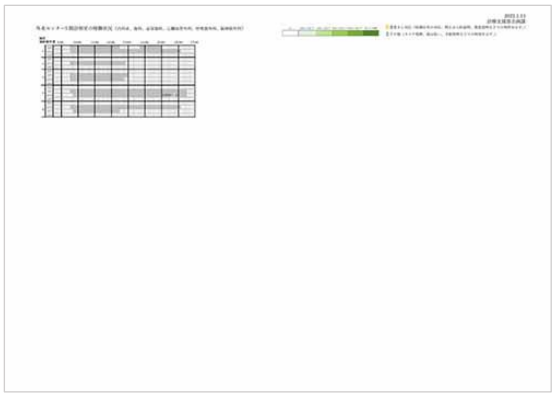
７．人員配置について

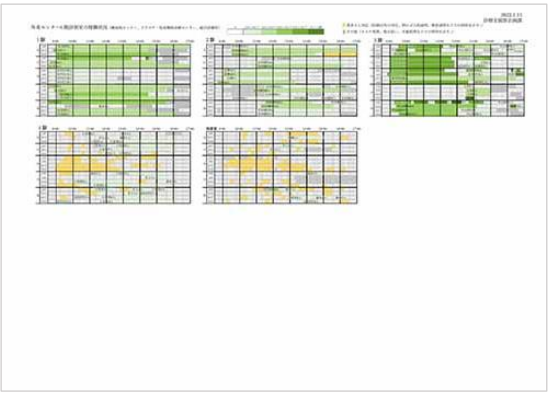
1 月　大中 崇主任　　異動（企画課→医事課）
　　北川 真也主任　異動（医事課→企画課）
3 月　吉原 悠衣さん　異動（企画課→診療情報課）
3 月　公文 奈弥さん　入職

■データ分析資料　等

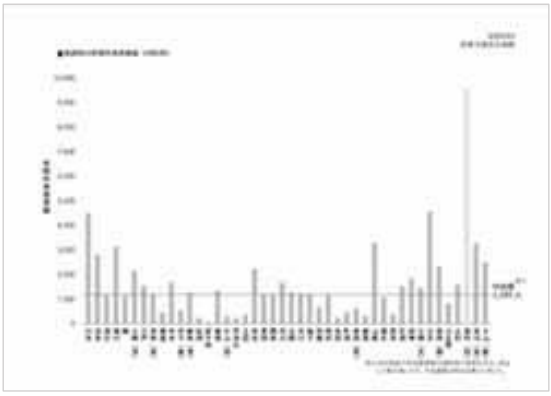
・外来センター診察室稼働状況調査

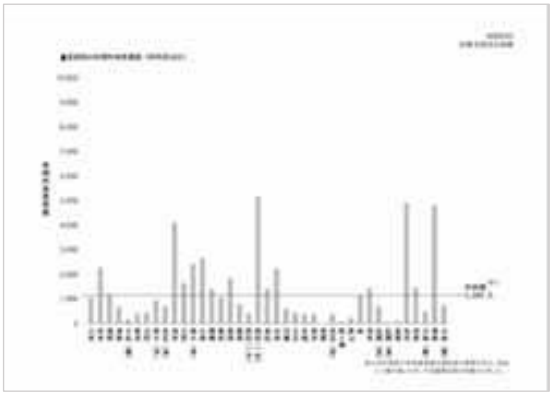


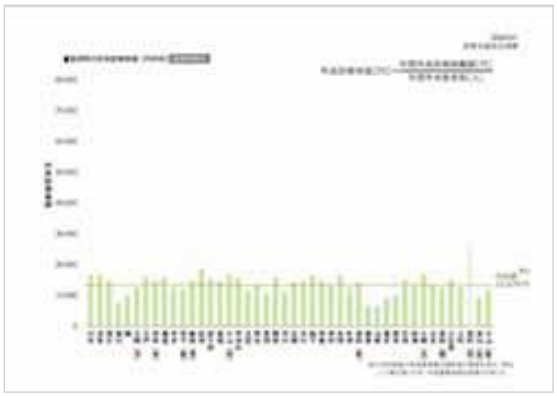


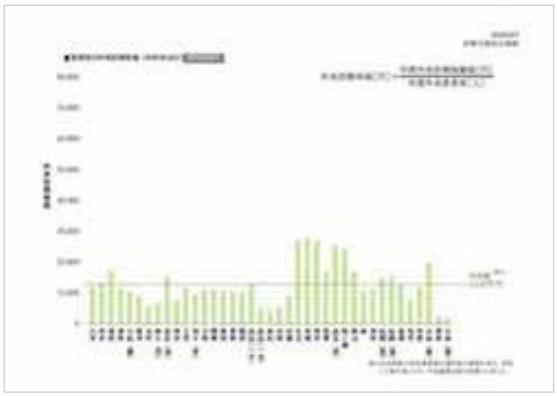


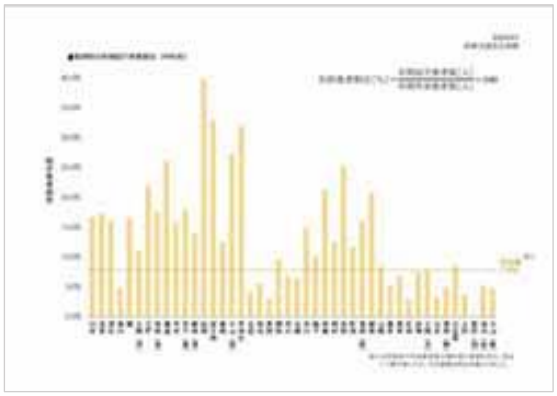
・外来患者数、初診患者割合、紹介患者割合、外来診療単価の推移

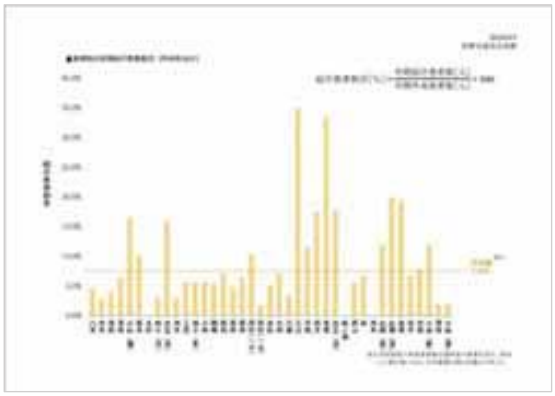


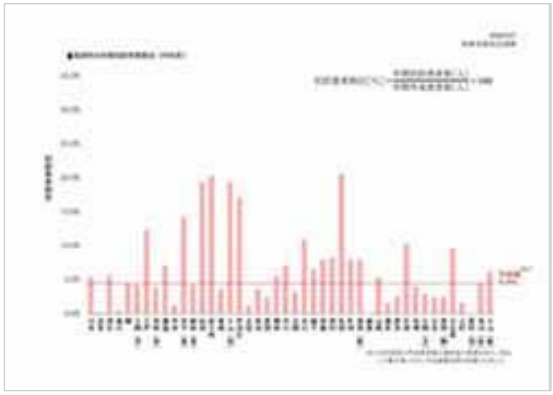


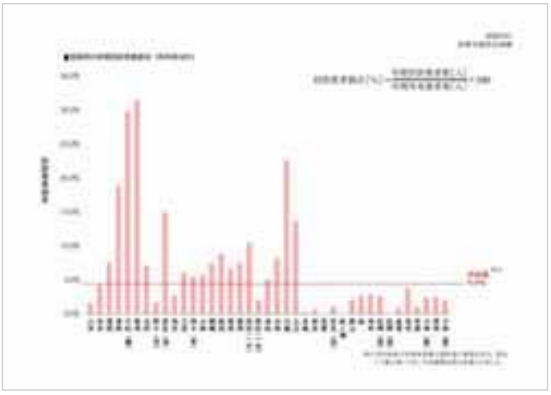


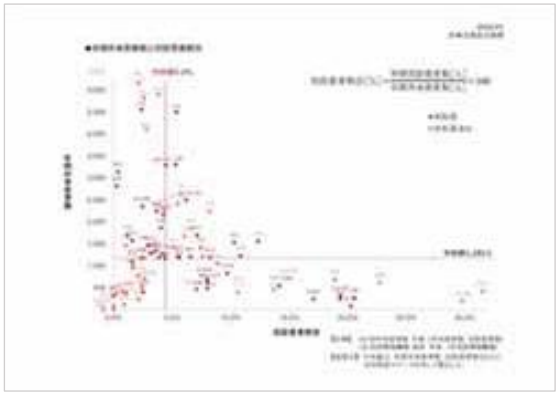


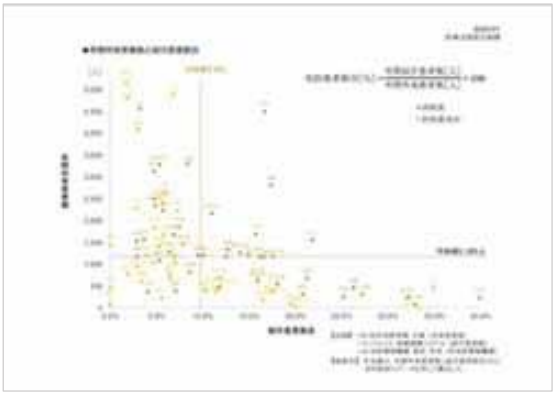


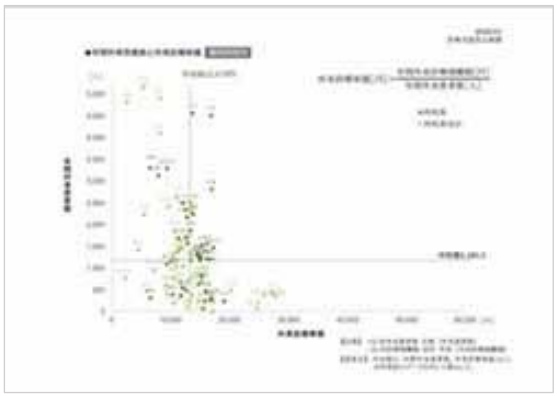


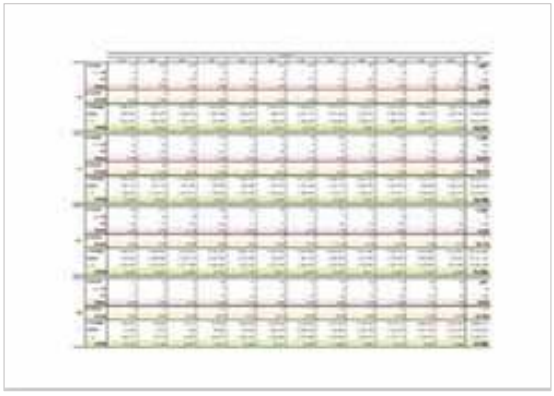


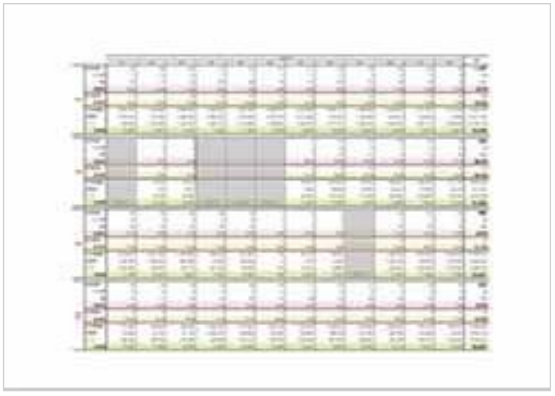


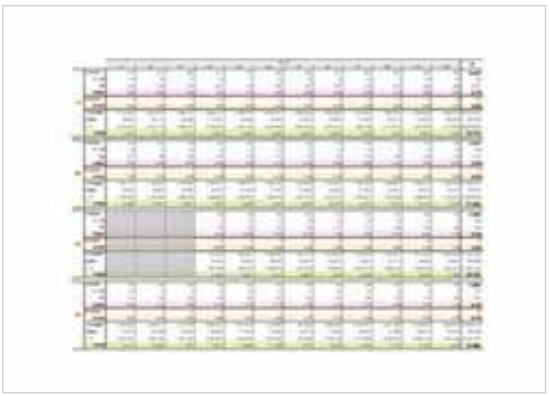


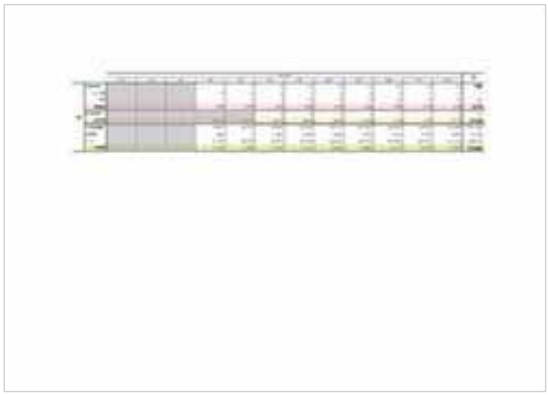




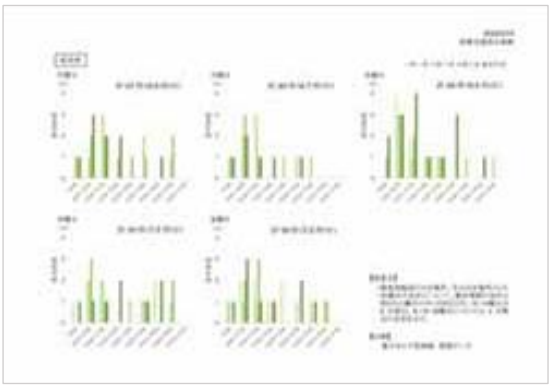


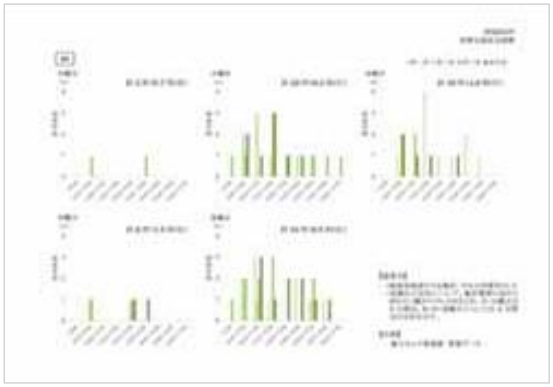


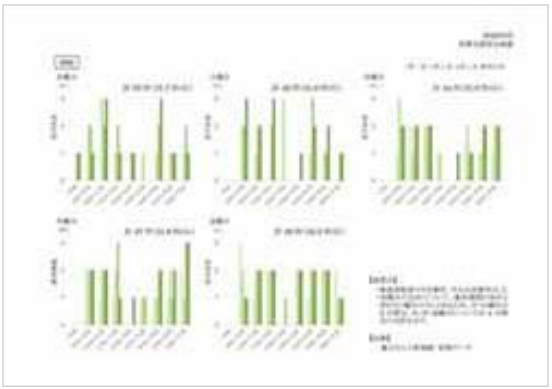


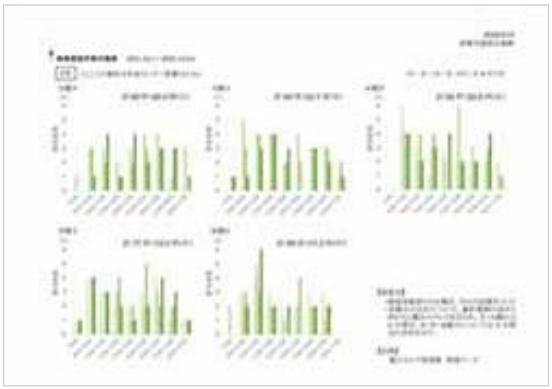


・検査実施件数の推移

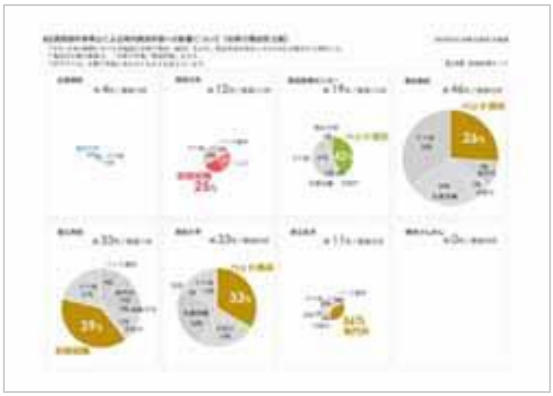








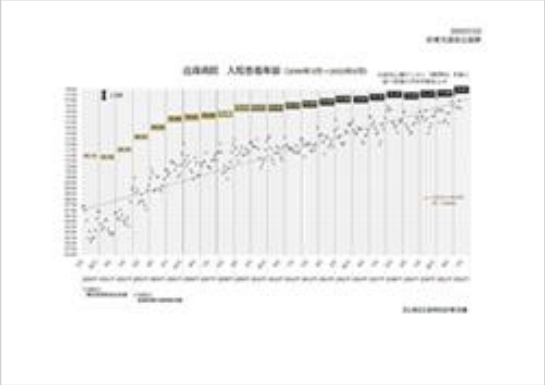
・近森救急外来停止による県内搬送件数への影響について

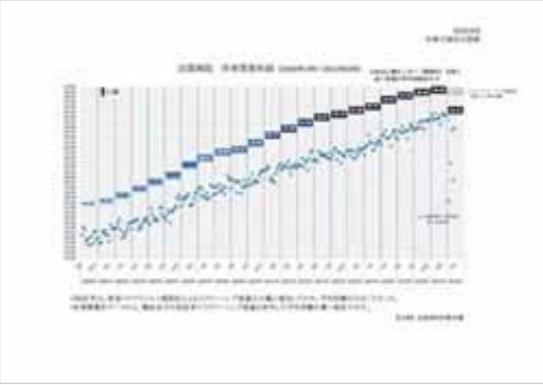


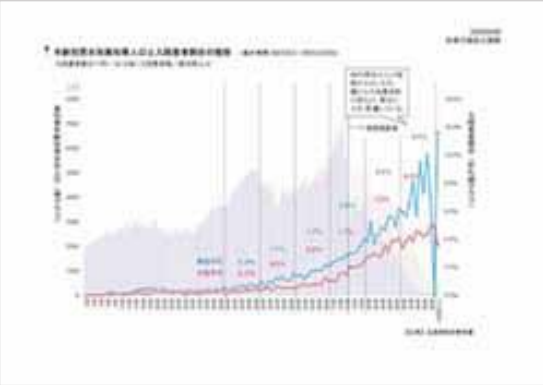
・疾病別退院患者数、疾病別緊急入院患者数

・A 棟 3F 中央採血室　来室患者数算出

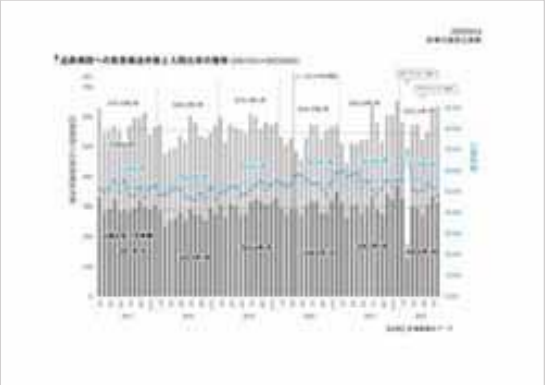
・年齢別男女別高知県人口と入院、外来患者数





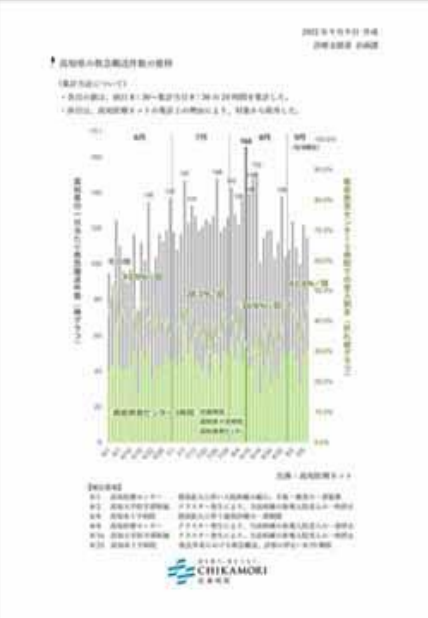


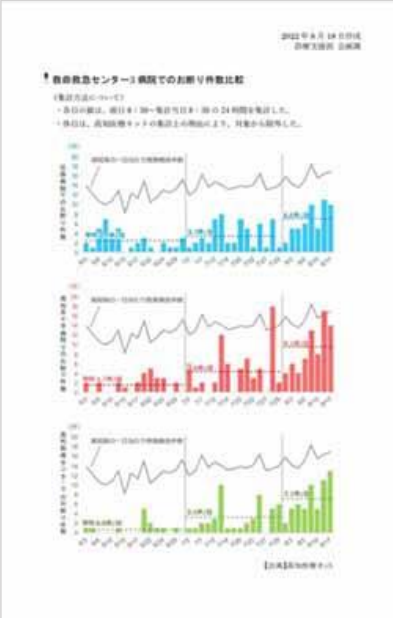
・近森病院への救急搬送件数と入院比率の推移



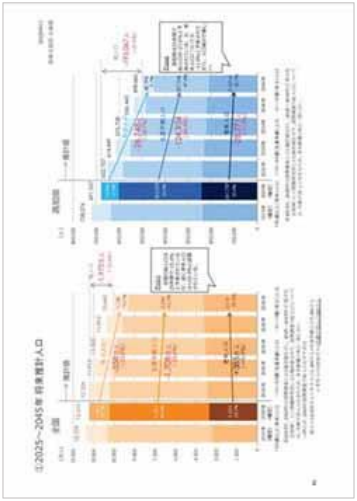
・高知県の１日あたりの救急搬送件数の推移

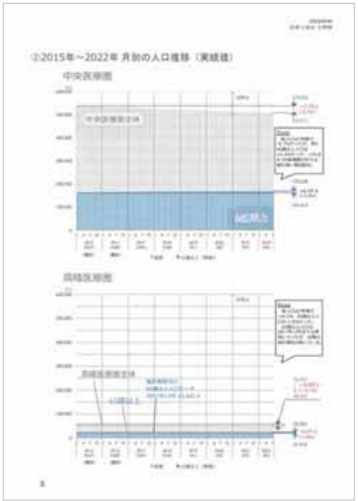
・救急搬送件数の推移

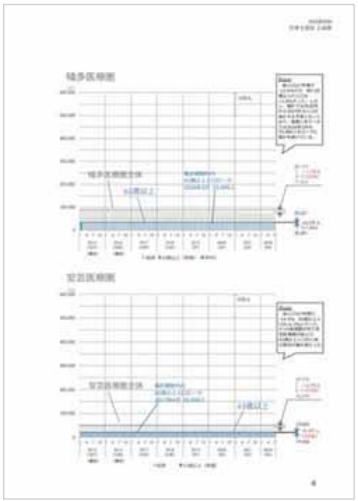


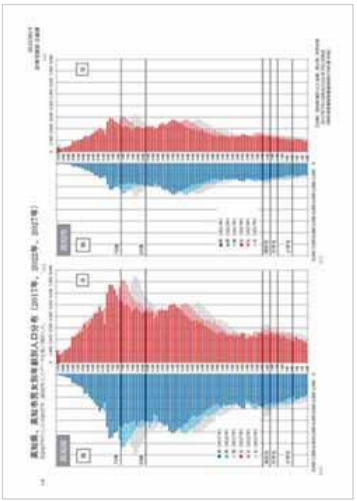


・高知県の医療圏別、将来推移人口

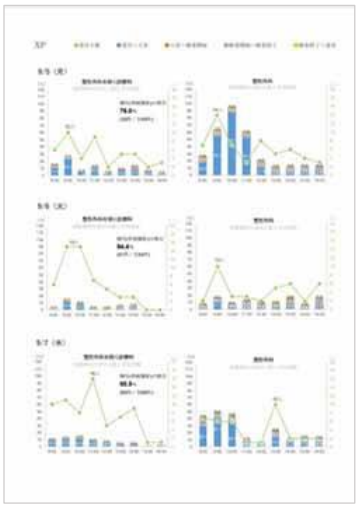


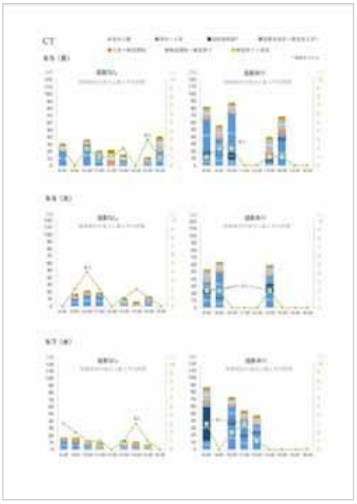


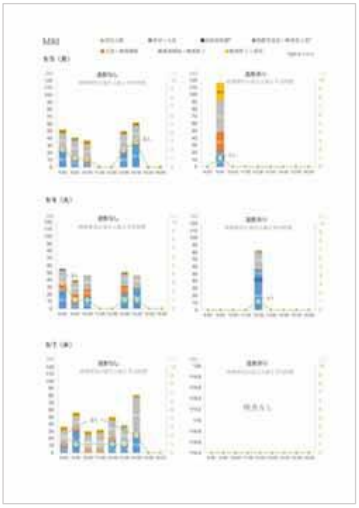


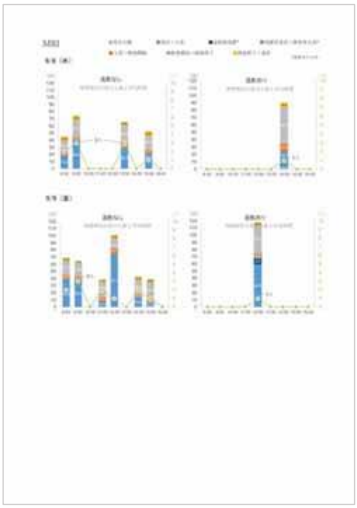


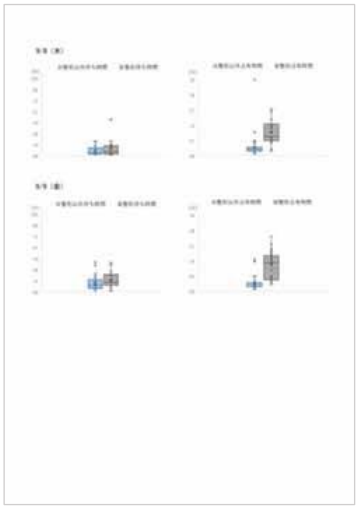
・外来センター画像検査エリア（3 階）における待ち時間調査

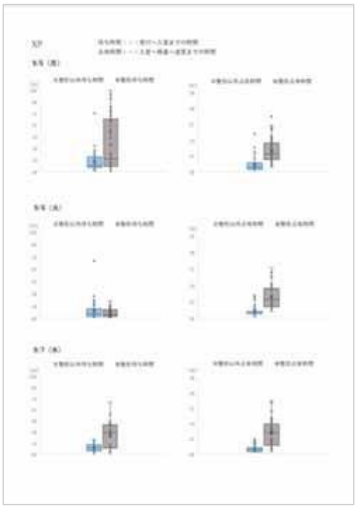




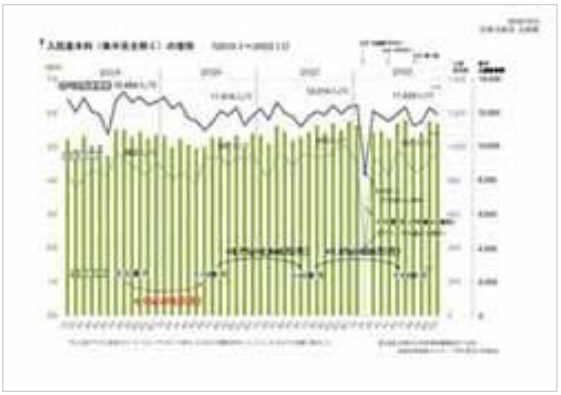


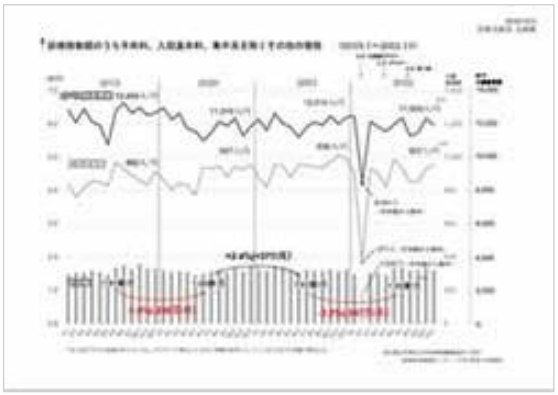






・診療実績データ分析





・救急受け入れ患者数、重篤患者数の施設間比較

年間に受け入れた重篤患者数

年間に受け入れた救急車搬送人員

救急受け入れ患者数、重篤患者数の施設間比較

救急受け入れ患者数、重篤患者数の施設間比較

年間に受け入れた重篤患者数

年間に受け入れた救急車搬送人員

■制作物等

2022 年に作成したポスターや冊子等の一部を掲載します。